



さいくさ小児科

病児保育だより

2026年 3月号

～今月のテーマ～

水いぼ(伝染性軟属腫)とは？

水いぼ(伝染性軟属腫)は、皮膚に径2-5mmのドーム状の「いぼ」をつくる良性のウイルス性皮膚感染症です。水いぼの有病率は5.1～11.5%で、ほとんどが9歳以下の小児です。夏季、特に6～7月に多くみられます。一般的に無症状ですが、痒みや不快感を伴うこともあり、通常は数か月から数年で自然治癒します。



感染経路は？

基本的に接触による経皮感染です。プールの水を介した感染はしませんが、タオル・玩具などを介した間接的な接触感染の可能性があります。また、引っ搔いて他の部位へ広げてしまうことも少なくありません。皮膚のバリア機能が低下するアトピー性皮膚炎などの皮膚疾患、免疫が低下している場合などは感染リスクが高く症状も重症になりやすいとされます。

寒さの中にも、少しずつ春の気配を感じる今日この頃です。皆さんいかがお過ごしでしょうか。インフルエンザB型や胃腸炎の流行がみられていますので、手洗いやうがいといった感染症対策を十分に行いましょう。

対応は？

- ・皮膚の清潔を保ち、保湿剤等でバリア機能を改善させましょう。
- ・プールに入る際はタオル、浮き輪、ビート板などの共有を避けましょう。
- ・特に液が出ている水いぼは絆創膏などで表面を覆い、他の子どもへの感染を防ぎましょう。

治療は？

- ・無治療：自然治癒しますが、経過中に広がる可能性もあります。
- ・摘除：即効性あり。痛みを伴うため、局所麻酔薬を貼り摘除します。
- ・内服治療：シメチジン、ヨクイニンに有用性の報告があるが、いずれも保険適応はありません。

【2月の病児保育室利用について】
インフルエンザ・水痘・胃腸炎などのお子さんが利用されました。

さいくさ小児科

病児保育室

0956-39-1005

お気軽にお問い合わせください😊